

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
新水道ビジョン・経営戦略策定事業	都市建設部	上下水道課	水道工務班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
新水道ビジョン・経営戦略確定	%			35	35	65	

評価	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	前回、水道ビジョンを作成した時点との、人口、給水量等の差がはっきりし、今後の計画作成に参考となった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今回のデータを基に、事業の見直しを実施し、新水道ビジョン・経営戦略の策定に反映させる。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
水道施設台帳作成事業	都市建設部	上下水道課	水道工務班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
進捗率	%	40	40	60	60		

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	今までに市が発注した工事の配水管以外の、寄付採納分の配水管等が判明した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成30年度に調査した導水管・配水管・給水管のについて、管種・口径・布設年度ごとに電子データ化する。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	今まで、紙データで調べていたものが、新システムで簡単に検索できるようになった。
		実績値を踏まえた今後の方針	予定通り事業終了
		今後の方針の理由及び今後の予定	これからは、職員自ら新システムのデータを次々更新し、運用していく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
水道事業所施設整備事業	都市建設部	上下水道課	水道工務班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
高圧受変電設備	%	10	10	50	50	40	
計装設備	%	100	100	—	—	—	
3号配水池天蓋塗装	%	100	100	—	—	—	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	計装設備の更新を実施したことにより、これまでのような軽微な故障がなくなった。また、配水池の天蓋の塗装を行ったことにより、水の安全性の広報になった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、高圧受変電設備の更新を行うことにより、水道施設の安全確保に努めていく。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	新たな高圧受変電設備が完成したことにより、次年度の工事完成が早期に実施できるよう作業計画を進めたい。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	早期に新しい高圧受変電設備に切替を行い、安全な水運用を行っていきたい。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
石綿管更新事業	都市建設部	上下水道課	水道工務班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	石綿セメント管の更新延長	m	324	335	873	858		
	モルタル充填・舗装本復旧工事	式					1	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	県道成田両国線バイパスが開通したことにより、千葉信用金庫前の交差点の渋滞緩和に寄与した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	漏水件数の多い路線から、順次、耐震性の高い管渠への更新を進めていく。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	石綿管から新設管への切替を実施したところ、1日当たり500~800m ³ の配水量が削減した。令和元年度の有収水量が84.2%に平成31年度と比べ1.4ポイント上昇した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	漏水件数の多い路線から、順次、耐震性の高い管渠への更新を進めていく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
下水道整備事業	都市建設部	上下水道課	下水道工務班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
普及率	%	60.8	62.9	61.2	64.1	61.7	
整備率(全体区域)	%	45.5	45.5	45.7	45.7	45.9	
整備率(認可区域)	%	89.3	83.3	89.8	83.3	90.2	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	事業認可変更により認可区域を40.9ha拡大した。これにより整備率(認可区域)の分母が異なった。 下水道計画区域0.33haを整備、集中浄化槽を有する団地(根木名NT)の整備を進め、次年度接続を行う。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	公共下水道の普及率の向上を図っているところであるが、全体計画における公共下水道の整備率は、50%を下回っていることから、計画区域内の集中浄化槽を有する団地の接続を継続していく。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	下水道計画区域8.78haを整備、集中浄化槽を有する団地(富里台)の整備を進め、次年度接続を行う。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	公共下水道の普及率の向上を図っているところであるが、全体計画における公共下水道の整備率は、50%を下回っていることから、計画区域内の集中浄化槽を有する団地の接続を継続していく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	